



共生社会の実現に向けて

三重県知事 一見 勝之

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、心新たに清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

県では、昨年10月、新しい総合計画として、県政運営の指針となる長期ビジョン「強じんな美しい国ビジョンみえ」と施策の取組方向を示す中期の戦略計画「みえ元気プラン」を策定しました。その中で、障がいの有無に関わらず誰もが尊重し合いながら共生する社会の実現を政策展開の基本方向として位置付け、相談支援体制の強化や地域生活・就労の支援、福祉サービスの充実、社会参加の推進などさまざまな取組を進めているところです。

特に、医療的ケアを必要とする方が年々増加し、支援体制が課題となっていることから、昨年4月に「三重県医療的ケア児・者相談支援センター」を設置しました。相談支援や人材の育成など、医療的ケアを必要とする方やその家族が、地域で安

心して生活いただけるよう取り組んでいます。

また、これまで三重とこわか大会に向けて取り組んできた取組を継承し、障がい者スポーツのさらなる裾野の拡大に向け、昨年8月には「三重県障がい者スポーツ支援センター」を設置しました。県民・企業等の皆様からの相談にワンストップで対応するとともに、支援を必要とする競技団体と企業とのマッチング、総合型地域スポーツクラブとの連携によるスポーツ体験等を行っています。

これらの取組を通じて、障がいのある人の自立と社会参加、県民の障がいに対する理解の促進を図るとともに、障がいの有無に関わらずスポーツに取り組める環境づくりを進めてまいります。皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年の皆様のご多幸とご活躍を祈念し、新年のあいさつといたします。



新年のごあいさつ

公益社団法人 三重県障害者団体連合会 会長 世古佳清

あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

日頃は、三重県障害者社会参加推進センターの活動にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、引き続きコロナ禍に加え、ウクライナの戦況や北朝鮮のミサイル発射に憂慮し、また、円安等による物価上昇が顕著となり、私たちの生活にも影響を及ぼし始めました。

そんな中、先般のサッカーワールドカップ日本代表の「ブラボー」な活躍により、多くの国民が歓喜し、感動、元気、勇気をもって新年を迎えられたことを嬉しく思います。

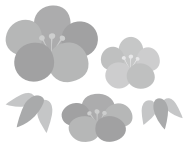
さて、当連合会では、感染拡大防止対策のため開催できない事業も一部ありましたが、津市で開催の三重県身体障害者福祉大会や、四日市市で11回目を開催し最多となる600点以上の応募を得た三重県障がい者芸術文化祭などを盛況に終えることが出来ました。ご協力いただきました関係各位には、紙面にて恐れ入りますが御礼申し上げます。

また、三重県障がい者芸術文化活動支援センターとしても本格的に事業を開始し、みえアールブリュットや地域巡回展、ライブイベント、研修会、相談支援などを行って参りました。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスの収束はまだまだ先になりそうですが、コロナ禍を越え、障がいのある皆様の声を国や県に届け、また、各種スポーツ教室、生活安全教室、ふれあい交流事業、相談員研修などを開催し、従来通り密を気にせず全ての事業が実施できることを願いつつ、相互の親睦と健康維持に努めていきたいと思っております。各市町の皆様の参加をお願いいたします。

私たちは全国の仲間と連携し、障がいにより分け隔てられることなく、誰もが安全安心に暮らせる地域共生社会の実現に向け取り組みます。今後ともご支援いただきますようお願い申し上げます。

最後に皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



新春のお慶びを申し上げます



三重県精神保健福祉会

令和4年度も新型コロナウイルス禍への対応のため、3密の回避を余儀なくされ、様々な行事が縮小ないし中止となりました。

各種研修を開催し、また精神保健福祉に関する全国ないし東海地区での研修に参加し精神障がい者の偏見をなくすための啓発の活動を行ってきました。

さんかれんは前年度に継続し令和4年度の事業として、第45回三重県精神保健福祉研修会（甲州・東海ブロック家族会精神保健福祉促進研修会を併設）を11月に四日市市で開催すべく準備を進めておりましたが、依然として三重県の新型コロナウイルス感染の影響により次年度への延期を余儀なくされました。

令和4年度の活動としては、例年取り組んでいる諸事業を実施するべく次の通り実行していきます。

- ①精神障がい者が、地域で安全で安心して社会参加できる環境の促進を図るうえで精神障がい者に対する交通運賃を身体障がい者、知的障がい者と同様に割引制度の適用対象にすることを東海地区家族会連合会と協力し近畿日本鉄道への要望の結果令和5年4月より他の障がい同等の運賃割引適用が実施されることになりました。まだ適用されないJR等へ要望活動を継続していきます。
- ②医療費助成については、三重県の近隣県は、身体障がい・知的障がいと同等の助成を受けておりますが、三重県の精神障がい者への医療費助成は1級の通院のみで他県に比して遅れており、2級の医療費助成については各市町がそれぞれの立場で実施していただいておりますが三重県29市町中9市町においての助成に留まっています。県への要望に合わせ、各市町の家族会及び家族と協力し県内全域での助成を求める活動を進めています。
- ③次年度に繰り延べた甲州・東海ブロック家族会精神保健福祉研修会の実現を多くの地域の皆さんへ精神障がいに対する正しい知識の普及を図るとともに、精神障がいを持つ当事者・家族の方と交流し、当事者の方々の持っている魅力やパワーを肌で感じていただく機会を創出します。
- ④住居サポート事業の活動を行い、住宅保証人受託増により精神障がい者の生活の質向上に貢献しています。また、家族による家族相談、家族同士のサロンによって家族が元気に当事者を見守り支えることができ、当事者支援の一助としております
- ⑤啓発広報資料「あゆみ」の配布によって、地道な

家族会活動の周知を図るとともに、広く県民の多くの目に触れ、「精神障がい」について「知っていただく」ことを取り組みます。

- ⑥精神障害保健福祉について三重県への要望を提出し、環境の改善に取り組みます。等を実施することで精神障がい者に対する誤解・偏見および三障がい間の格差の是正に積極的に取り組んでいます。

NPO法人 三重県精神保健福祉会（さんかれん）
事務局 ☎・FAX 059-271-5808
E-mail:sankaren@mint.or.jp

三重県視覚障害者協会

新年を迎え、皆さまにおかれましては、健やかにお過ごしのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、三重県視覚障害者協会並びに三重県視覚障害者支援センターの活動に対しまして、深いご理解と温かいご支援・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

当協会においては、県職員採用における視覚障がい者の積極的な採用、交差点の安全な横断を支援する音響式信号機のさらなる増設及びスマホ対応の高度化PICSの新規設置並びに情報の取得・利用等の支援など、視覚障がい者の社会参加の促進に向けて、当事者目線を尊重して取り組んでいただくよう三重県に対し要望を行っています。

また、県内の視覚障がい者の方々が、より円滑に日常生活が営まれるよう、三重県から指定管理を受け、三重県視覚障害者支援センター（以下「支援センター」と表記）を運営しております。支援センターでは、視覚障がい者の皆さんへ点字図書・音訳図書等の貸し出しや、個人的資料の点訳・音訳を行う「プライベートサービス」などの図書館等情報サービスをはじめ、白杖を使った歩行訓練、音訳の情報支援機器の操作などの生活訓練、生活情報誌の発行など、様々なサービスを実施しているほか、点訳・音訳ボランティアの育成にも取り組んでおります。さらに、小学校等のご希望により、施設の見学や日常生活用具等の説明・体験などを行い、次世代の子どもたちへの視覚障がいに対する理解の促進を図っています。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底しながら、各種事業に取り組んでまいりましたが、残念ながら感染者数が急増した7月末から

8月初旬に開催予定でした一部の事業を中止とし、支援センター利用者の皆さんに大変ご不便をおかけいたしました。今後も、感染対策を実施しながら、利用者の皆さんのご要望に応えられるよう、引き続き努力を重ねてまいります。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして、実り多き年になりますよう、心から祈念申し上げるとともに、引き続き、三重県視覚障害者協会並びに支援センターの活動にご支援いただきますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

社会福祉法人 三重県視覚障害者協会
(三重県視覚障害者支援センター)
〒514-0003 津市桜橋2丁目130番地
☎ 059-228-3463 FAX 059-228-8425
E-mai: mieten@zc.ztv.ne.jp
HP <http://www.zc.ztv.ne.jp/mieten/p/>

三重県聴覚障害者協会

2022年度前半(2022年4月～2022年12月)で、特に変化があったのは、当協会のホームページ開設と、第52回全国ろうあ女性集会の三重での開催です。コロナ感染症流行中の現在、これまで以上に情報発信の必要性を感じ、当協会の顔としてホームページを開設しました。今後も更に改善を加えていきたいと思っています。

9月30日(金)～10月2日(日)三重県伊勢市のシンフォニアテクノロジー響ホール伊勢にて「第52回全国ろうあ女性集会inMIE」が開催され、3年ぶりの全国女性部イベントに、各都道府県から約440名の参加者が集いました。天候がとても心配でしたが、まぶしいくらいの快晴で、当協会の女性たちのパワーで無事終了することができました。

当協会の会員数は2021年度の279名より4名減の275名、賛助会員は昨年度より6名増加の113名(12月20日現在)となりました。コロナ拡大防止に注意をしながらほとんどの行事を対面で開催しました。書籍の情報や行事のお知らせ、行事の実施報告などは機関紙や動画やブログで提供できるように工夫しました。また、昨年度から毎週金曜日に会員たちやサークル会員向けに配信してきましたYouTube動画は事務局の仕事が多忙になり、月2回配信に変更しました。

このような状況の中ですが、5月14日(土)体育部「全障スポ大会バレー予選会」(新潟県)、5月22日(日)「第75回三重県聴覚障害者福祉大会」(松阪)、6月5日(日)体育部「スポーツ交流会2022」(津)、6月11日(土)～12日(日)の2日間「第

70回全国ろうあ者大会inひろしま」で大会のブースにて三重から全国女性集会のグッズと手話トイレトペーパーなどの販売促進、7月1日(金)高齢部「茶話会&講演会」(津)、7月17日(日)体育部「ボウリング交流会」(鈴鹿)、9月3日(日)文化事業部「単発事業～国際手話を学んで～」(津)、9月7日(水)高齢部「敬老会&茶話会」(津)、10月8日(土)体育部「全障スポ大会代替陸上競技」(伊勢)、11月6日(日)三重通研合同企画「三重県手話通訳問題研究討論集会」(伊賀)、11月13日(日)文化事業部「第19回三重ろう者文化祭」(津)、11月20日(日)～21日(月)旅行企画「1泊2日旅行」(焼津と日本平)が順調に実施できました。

全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画『咲む』については4月3日(日)津市久居総合福祉会館ホール、11月20日(日)紀宝町生涯学習センター『まなびの郷』で開催しました。今年3月までにさらに2カ所(松阪、志摩)で放映予定です。

三重県手話サークル連絡協議会との合同企画「交流会」「学習会」は新型コロナウイルス感染症拡大のため、残念ながら7月の開催を延期しました。今年3月5日(日)のセンターまつりで合同開催の予定です。

県理事体制は2年目になりますが、新年度は会員の高齢化に対して10年先を見据えつつ、更なる聴覚障害者の福祉向上に取り組んでいきたいと思えます。また、組織の理念を重んじ結成75年の歴史と伝統を受け継ぐとともに、経験を確実に後世に引き継ぐ事が必要ではないかと考えています。

依然、様々な壁がありますが、これからも関係団体の皆さまとともに決して諦めず立ち向かって活動していきたいと思えます。今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

事務局 ☎ 059-229-8540 FAX 059-223-4330
E-mail: deaf.mie@viola.ocn.ne.jp
HP <http://deafmie.cocolog-nifty.com/blog/>

三重県知的障害者福祉協会

新年明けましておめでとうございます。

昨年度もコロナに始まりコロナに終わるといった1年であったと言えます。そして今や第8波に入り、感染が拡大し続けております。協会内においても複数の施設・事業所においてクラスターが発生し、厳しい日常を強いられております。ただ重篤な状態に陥ることなく皆さん回復されてきていることが何よりだと感じております。

また、これまで開催がかなわなかった協会事業も一

部ではありますが様々な工夫を凝らしながらリアル開催ができ、そこには慨深いものを感じることができました。

今年度も、引き続きコロナ感染防止対策の一層の強化をはかりながら新たな事業計画に基づきリアル開催できるよう最大限の努力を傾けたいと思っております。

加えて、令和6年4月を目指して検討されてきました障害者総合支援法の改正案がすでに示されていることに鑑み、障害のある方の福祉がさらに充実、発展することを願って日本知的障害者福祉協会とともに、また関係団体の方々のご協力をえながら活動を進めて参りたいと考えております。

さらに、法改正とともに報酬の改定も予定されていることから、障害のある方の負担増を避け、事業経営の安定化がはかられるよう改定の動向に注視しながら取り組んでいきたいと考えています。

つきましては、これまで同様に関係団体の皆様のご協力、ご指導を衷心よりお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

会長 近藤 忠彦
事務局 ☎ 059-268-1115 (まもり苑・本弘)

三重喉友会

当会は創立68年目になり、現在会員数は60名です。喉頭や食道の摘出手術を受け、発声機能を失った方々のための患者会です。発声教室で訓練をして日常会話ができるようになり、社会や職場に早く復帰されることが目的です。

この他、健康相談や親睦の場としても活発な活動をしています。

このような患者会は全国にあって、NPO法人日本喉摘者団体連合会に加盟しており、各団体は互いに情報を交換しながら協力しています。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により各病院での発声教室は休校となっています。

新規の教室として県身体障害者総合福祉センターで土曜日(月2回不定期)に開校しています。早く感染拡大が収束して、各病院とも利用可能になり、例年のように活発な活動ができるように全会員が願っています。

◆発声教室

・中勢地区

三重県身体障害者総合福祉センター 大研修室
毎月2回土曜日(不定期) 14時~15時30分

※会員の方は塚本迄連絡下さい。

(☎&FAX 059-261-5257)

県内の各病院は休講です。

・北勢地区

市立四日市病院1階 11会議室
第一水曜日 13時~15時

・中勢地区

三重大学附属病院南館12階 三医会ホール
第三木曜日 10時~12時
三重県身体障害者福祉センター 大研修室
土曜日(毎月2回不定期) 14時~15時

・南勢地区

伊勢赤十字病院1階 山田ホール
第二木曜日 10時~12時

・東紀州地区(偶数月)

尾鷲総合病院1階 母親教室
第四木曜日 10時30分~12時

◆研修会

- ・発声指導員養成のための研修会が、毎年10月中旬に三日間行われ 一般会員の方も参加できます。
- ・県外から発声指導のために講師を招き、集中的な訓練により成果が上がる研修会も行っています。

◆総会(発声教室、研修会) 今年中止しました。
毎年春に三重大学附属病院で開催されます。
発声訓練の成果として「発声コンクール」を行います。

◆一泊研修旅行 今年中止しました。

先輩からの手術後の体験談や、会員の悩み等を話し合ったりして親睦を深めています。

会員による発声コンクール(カラオケ大会)を行います。

◆出前授業 未定

三重県教育委員会からの要請で県内の小・中・高等学校の生徒対象に「がん教育」として三重県内の病院の教授、医師と共にがん体験者としての講演をしています。

◆三重県がん相談支援

三重県がん相談支援事業の一環として、三重喉友会もがん患者団体としてサポーター協力しています。

事務局 ☎・FAX 059-261-5257 (塚本明雄)

Eメール aki0350@zb.ztv.ne.jp

日本オストミー協会三重県支部

新年おめでとうございます。

日頃はオストメイトの福祉向上にご支援とご協力を戴き有難うございます。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染数が一時的に少なくなった5月に総会と研修会を開催しましたが、その後の行事は新型コロナウイルス感染防止を

最優先として、すべて中止としました。

コロナ禍も昨年11月ごろより新種のオミクロン株への感染報告が日々増加しており、第8波の襲来と言われており、まだまだ先が見通せません。

令和5年度の行事は、次のとおり予定していますが、新型コロナウイルス感染の状況等を勘案して開催の可否を決定していきます。

【令和5年度の予定】

- ・5月 「支部総会・春の研修会」
会場：アスト津 13時～
- ・10月 「秋の研修会」 会場：アスト津 13時～
- ・11月 「一泊研修会」 宿泊地：鳥羽市内ホテル
- ・令和6年3月 「新入会員研修会」
会場：アスト津 13時～

「春と秋の研修会」には、WOC認定看護師や専門医をお招きして講話をいただき、ストーマケアをはじめとする質疑応答を行う予定です。

「一泊研修会」は「温浴施設での入浴」を通じて自信を持って社会に適應していける等、QOL（生活の質）向上のために参加者それぞれの経験や知見をもとに話し合いを行っています。

「新入会員研修・懇談会」は、ストーマケアや日常生活での注意点等を中心として、WOC認定看護師や経験豊かなオストメイトとの質疑応答でできるだけ早く社会適應が出来ることを目指しています。

また、高齢会員が多いことからできるだけ対面で親睦を図りながらの行事としていきたいと思ひます。

会員でなくともストーマケアに不安のある方は、出席してご相談ください。また、オストメイトはご家族のご協力があつて始めて快適なストーマ生活が過ごせます。ご家族でのご参加を歓迎いたします。

- ※注 (1)ストーマ …腹部に造設した排泄口人工肛門・膀胱のことを言ひます。
(2)オストメイト…ストーマを造設した人のことを言ひます。
(3)WOC（ウォックナース）…皮膚・排泄ケア認定看護師のこと。創傷（Wound）・ストーマ（Ostomy）・失禁（Continence）にかかわる専門知識、技術を有すると認定された看護師。

連絡先 支部長 ☎ 059-346-2589（溝川紳一）
事務局 ☎ 059-226-5201（在間敏明）

三重県肢体不自由児者父母の会連合会

あけましておめでとうござひます。また、日頃から肢体不自由児者の福祉向上にご支援いただひている

関係者の皆様は心よりお礼申し上げます。今年もよろしくお願ひ致します。

コロナによる行動制限が3年余りになひます。すべての事業計画が中止を余儀なくされてひます。その中で昨年に引き続き「障害者の明るいくらし」日帰りバス旅行のみ開催することができました。

感染者が増加してひる中、障害者支援施設等での利用者・職員の感染による施設利用が中止になる情報も聞かれてひます。一方、比較的軽症で推移してひることから第5類への見直しが検討されてひるようです。

昨年、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律が成立し、これまで「努力義務」とされてひた医療的ケア児への支援が、自治体の責務へと強化されました。

愛知県では、「基幹」1ヵ所「地域」7ヵ所の体制とする方針が打ち出されました。県内でも一層充実した体制が構築されることが望まれます。

この3年間余りの自粛生活や多くの行事が中止されたことは、長い団体活動の中で初めて経験する事であり、これからの活動を進める上で大きなダメージになったことでもあります。一日も早く「ふつうの生活」が訪れることを祈るばかりです。

事務局 四日市市南垂坂町810-47（鈴木）
☎・FAX 059-333-0005

三重県身体障害者総合福祉センター

新年あけましておめでとうござひます。本年もよろしくお願ひいたします。

障害者支援施設では、身体に障がいのある方や高次脳機能障がいのある方に対して、就労や地域での生活など、ひとりひとりのニーズに応じた社会参加の形を実現するために支援をしてひます。

訓練については、医学的リハビリテーションのほか、自動車訓練や外出訓練、情報訓練等の社会・職業リハビリテーションなど、総合的なリハビリテーションを実施してひます。

身体障害者福祉センターA型は、各種相談の実施、介護保険・医療保険によるリハビリテーションの実施、福祉用具や自助具の普及促進・相談、障がい者スポーツの推進などを行ってひます。福祉用具展示コーナーでは様々な福祉用具等を見学していただけます。ホームページでは、福祉用具の情報やイベントの紹介等を随時更新してひますのでご覧ください。

特に、障がい者スポーツの推進については、令和4年度は「三重県障がい者スポーツ大会」を競技ごと開催し、コロナ禍等で中止が続いてひました「三

重県ふれあいスポレク祭」は、令和に入り初めて開催しました。また、令和4年度に4年ぶりに開催されました栃木県で開催の全国障害者スポーツ大会には、三重県選手団として選手・役員あわせて117名を派遣し、個人競技では金・銀・銅合わせて40個のメダルを獲得し、団体競技ではバレーボール（身体障害の部・男子）が準優勝しました。

令和4年8月には当センターでは、障がい者スポーツを「する」「みる」「支える」裾野の拡大を図るため、障がい者スポーツを推進する拠点として、「三重県障がい者スポーツ支援センター」を開設しました。障がい者スポーツに取り組む機会の充実や支える人材の養成等により、一層の裾野の拡大に取り組むとともに、障がい者をはじめとする県民や企業からの相談にワンストップで対応し、障がい者スポーツを総合的に推進していきます。

今後とも、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

事務局：三重県身体障害者総合福祉センター
☎ 059-231-0155（代表） FAX 059-231-0356
HP：https://www.mie-reha.jp/

三重難病連

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

三重難病連は現在21（2団体活動休止）の当事者団体で構成されており、三重県難病相談支援センター事業を県から受託して運営しています。

2月のRDD（世界稀少・難病性疾患の日）に合わせ、難病による障がい者の方やその家族、地域住民等を対象とした講演会・交流会を実施しております。

このイベントが難病患者と社会や地域住民をつなぐ架け橋となり、稀少・難治性疾患の認知度向上になることを期待しております。

RDD2023 in Japan: つたえる、ひろがる、つたわる
— Our odyssey with RARE

開催日：令和5年2月18日（土）10時～16時
場 所：桑名市メディアライブ1階多目的ホール
（桑名市中央町3丁目79番地）

基調講演：三重大学大学院医学系研究科
先進血液腫瘍学 山口素子教授
お問合せ：☎ 059-223-5035

（三重県難病相談支援センター）

○疾患別相談（毎週火・木曜10時～16時）

三重難病に加盟している団体の相談員が療養相談や生活相談をお受けします。同じ病気の方々の悩み

や、様々な問題について同じ立場で一緒に考え、問題解決のお手伝いをします。疾患によって担当日が決まっておりますので、詳しくは下記の三重県難病相談支援センターへお電話でお問合せ、またはホームページでご確認下さい。

○就労相談

三重県難病相談支援センターでは、就労支援の担当がお仕事に関するご相談を受けています。また、毎月第4金曜10時～16時には、ハローワークの難病患者就職サポーターによる相談・支援も実施しています。
※都合により時間が変更する場合がございます。
（TEL 059-223-5045）

○小児慢性特定疾病に関するご相談

お子様のご病気に関しての困りごと・お悩みについて、担当の相談員がご相談をお受けします。
（TEL 059-223-5046）

【三重県難病相談支援センター】

TEL 059-223-5035
http://www.mie-nanbyo.server-shared.com/

三重県立特別支援学校長会

旧年中は本県の特別支援学校の教育活動にご支援・ご協力を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

2020年以来のコロナ禍はまだ収束したとは言えない状況です。学校現場は、コロナ禍を経て大きな変化があったと言えます。ICTを活用した教育の充実が推進されました。これにより、一人ひとりの特性や理解度に応じた学習、興味を引いて分かりやすい授業の実現に向かうことができるようになったと思っています。

一方、人々の交流・コミュニケーションにおいては、大きな影響が生まれました。学校での様々な行事は、中止や規模縮小、やり方の変更等がなされ、体験的な活動が減少する傾向も見られました。学校行事は非認知能力や生活する力を養う場であるとも言われており、中止や縮小によってマイナスの影響が出ていたと考えられます。交流及び共同学習や地域とのつながり等々においても困難といえる事態が生じていました。全てではありませんが、直接的な交流や関わりは間接的なものへと移行していきました。コロナ禍によって居住地校交流・学校間交流の形態や地域との関係も大きく変わったと言えます。しかしながら、今年度になってから少しずつ改善がなされていると実感できるようになっています。以前やられていた取り組みに戻るといった視点だけでなく、新たなよりよい取り組みを作り出すといった視点での改善もなされてき

ています。マイナスからプラスへの転換が学校現場において確実になされていると捉えています。

また、居住する地域において学習する機会の充実を図る副次的な籍の導入も進められています。

コロナ禍で生じたマイナスの影響をプラスに変容させていくためにも、今後、インクルーシブ教育システム構築において重要な教育活動として位置付く交流及び共同学習を計画的・組織的・継続的に推進していくとともに、地域とのより強固な連携・協働に向けて今以上に力を注いでいく必要があります。

そのためにも特別支援学校各校は、保護者、関係団体や地域と連携し、ウイズコロナ・ポストコロナを見据えたインクルーシブ教育の進展を踏まえた特別支援教育の充実に向けて取り組んでまいります。

事務局：三重県立特別支援学校西日野にじ学園
☎ 059-322-2558 (坂本 学)

独立行政法人高齢・障害・求職者 雇用支援機構三重支部

三重障害者職業センター

- ① 一般企業で働くことを希望する障害のある方に対して、ハローワークや関係機関と連携し、就職への準備を整えるための相談・職業準備支援、就職した職場に適應するためのジョブコーチ支援、休職している方の職場復帰のための支援などの各種支援を行っています。
- ② 事業主の方に対して、障害者雇用の進め方や雇用管理に関する相談・支援を行っています。
- ③ 障害のある方の就労支援を行っている関係機関の方に対して、就労支援に関する助言や研修などを行っています。

【お問合せ】津市島崎町327-1 (ハローワーク津 3階)
☎ 059-224-4726 FAX 059-224-4707

高齢・障害者業務課

- ① 事業主の方に対しては、障害者雇用納付金制度に基づく納付金申告申請書・調整金支給申請書等の受付や相談を行っています。
- ② 障害者雇用への理解を広げるため三重県・三重労働局の共催のもと「三重県障害者技能競技大会 (アビリンピックみえ)」を開催しています。

【お問合せ】津市島崎町327-1 (ハローワーク津2階)
☎ 059-213-9255 FAX 059-213-9270



令和5年三重県交通安全県民運動

○三重県交通安全県民運動スローガン

やさしさが 安全つなぐ 三重の道
～ 歩行者の ハンドサインは 赤信号 ～

年間重点目標

- (1) 高齢者と子どもの交通事故防止
- (2) 横断歩道における歩行者優先の徹底
- (3) 歩行者の交通ルール遵守の徹底
- (4) シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- (5) 飲酒運転等の根絶
- (6) 自転車の交通ルール遵守の徹底
- (7) 夕暮れ時又は天候に応じた早めのライト点灯の推進
- (8) 反射材用品の普及促進

期間を定めて行う運動

◆年間運動

思いやりとゆずりあいでの交通事故をなくす年間運動

◆各季運動等

春の全国交通安全運動

5月11日(木)～5月20日(土) (予定)

夏の交通安全県民運動 7月11日(火)～7月20日(木)

秋の全国交通安全運動 9月21日(木)～9月30日(土)

年末の交通安全県民運動 12月1日(金)～12月10日(日)
夕暮れ時、ちょっと早めのライト・オン運動

10月1日(日)～12月31日(日)

◆日を定めて行う運動

交通事故死ゼロを目指す日

全国交通安全運動期間中に実施予定

交通安全の日 横断歩道“SOS”の日 毎月11日

高齢者交通安全の日 (セーフティ・シルバー・デー)

毎月15日 (S・Sデー)

自転車安全対策強化日 (セーフティ・バイシクル・デー)

毎月第一月曜日 (S・Bデー)

三重県飲酒運転0をめざす推進運動の日 毎年12月1日

ご協力をお願い

日頃は温かいご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当事業所は、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会協賛のもと、全国的組織で福祉事業を実施しています。皆様のご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

日本身体障害者団体連合会事業所
(お問い合わせ) 電話 (フリーダイヤル)
0120-263-323

令和4年度三重県障がい者芸術文化祭

～ひとりひとりが主人公 想いを届ける芸術祭～

12月23日（金）24日（土）四日市市文化会館に於いて、三重県障がい者芸術文化祭が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場は申込制（当日入場可能）となりましたが、ステージ発表、表彰式も会場で行うことが出来ました。

障がいのある方が自身の能力を發揮した作品展には絵画248点、写真19点、書道32点、陶芸19点、手芸22点、工芸79点、貼り絵・CG67点、俳句16点、合計552点、共同作品30点の応募があり、特別支援学校コーナーでは18校の展示をしました。

また、ステージ発表では、オープニング2組を含め、14組の応募がありました。

芸術・文化活動に対するの活性化の成果が發揮された2日間となりました。

作品展の様子は、下記の三重県障がい者芸術文化活動支援センターのホームページから閲覧することが出来ます。



<https://mie-asc.jp>

サブタイトル

令和4年度三重県障がい者芸術文化祭
～ひとりひとりが主人公 想いを届ける芸術祭～



表彰式



会場の様子



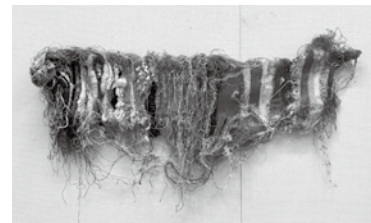
三重県知事賞



絵画
星月夜



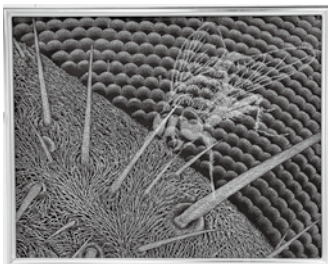
写真
五月のぼり



手芸
カラフルさをり

もう一度
我が目で
見たい
赤トンボ

俳句



工芸
ミクロとマクロ



貼り絵・CG
石



陶芸
平和を祈る

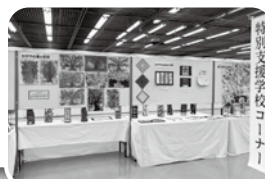


書道
すまいる

共同作品



特別支援学校の作品



ステージ発表



令和4年度三重県障がい者芸術文化祭 受賞者一覧

賞	部門	氏名	作品名(俳句)	所属等又は市町名
三重県知事賞	絵画	菅尾 博司	ほしづきよ 屋月夜	(福)名張育成会 ワークプレイス葉 アトリエ彩
	写真	駒田 友章	ごつき 五月のぼり	障がい福祉サービス事業所でんでん
	書道	吉輪 賢司	すまいる	三重県自閉症協会
	陶芸	鈴木 克彦	へいわをいの 平和を祈る	きらめき工房いが
	手芸	鈴木 静恵	カラフルさをり	三重県いなば園すぎのき寮
	工芸	藤本 治市	マイクロとマクロ	鈴鹿市
	貼り絵・CG	喜田 時生	いし 石	エブリー稲生事業所
三重県議会議長賞	俳句	小川 正次	もう一度我が目で見たい赤トンボ	志摩市障がい者福祉会
	絵画	松並 和音	チューリップ	上野ひまわり作業所
	写真	勝瀬 拓海	はるのおとず 春の訪れ	障がい福祉サービス事業所でんでん
	書道	三宅あやを	36歌仙	松阪市身体障害者福祉協会
	陶芸	世古 卓也	マンモスの行進	社会福祉法人ベテスタこいしろの里
	手芸	小川久美子	100人のお茶会 紅茶のコースター	かしの木
	工芸	桑木 雪美	時を越えて、今も小さな幸せを願う	NPO法人ふてい・ぼぬ〜る
貼り絵・CG	平野 みち子	ふか 深まりゆく秋	桑名市身体障害者福祉協会	
四日市市長賞	俳句	小林 寛久	ブランコにのるまではまだ帰らない	桑名市
	絵画	蛭薙 大和	メダカ	ワークショップみらい
	写真	西澤 けい子	彼岸の知らせ	障がい福祉サービス事業所でんでん
	書道	山下 芭奈	こころ 心	三重県立聾学校
	陶芸	永田 実	コップ	社会福祉法人ベテスタこいしろの里
	手芸	慶田 詩織	みず 水はめぐる	NPO法人工房ゆう
	工芸	中村 侑樹	僕のハッピークリスマス	三重県いなば園
実行委員会賞	貼り絵・CG	西野 玲央	れおず とカーン びくチャー Reo's Torn Picture	生活介護事業所 かすみの里
	俳句	平谷 富之	せんふうき しごと おも 扇風機 仕事が終わり 物置きに	まつさかチャレンジドブレイス希望の園
	絵画	大里 福一	ふれあいな鯉	菰野町
	写真	稲垣 実来	うもりこうえん 鶺鴒の森公園	放課後等デイサービスハッピーテラス四日市北教室
	書道	河本 晃司	ふうりんかざん 風林火山	(福)名張育成会 ワークプレイス葉 アトリエ彩
	陶芸	浜口 颯汰	げんしかいじょうたい 古代怪鳥 対 古代怪獣	四日市市
	手芸	天田 晶子	フラワーガーデン	おおさか作業所
奨励賞	工芸	谷本 優翔	キラキラ光る素敵なお街	こどもサポート教室きらり四日市校
	貼り絵・CG	矢野 雄太	やの電	ぶらま
	俳句	木村 靖子	麻痺の手の スプンゼリーへ よく動き	明和町障害者の会
	絵画	安藤 廉也	ひかりゆきチケット 光行きチケット	そらまめ
	絵画	神廣美佐紀	てんぐの森とキツネの祭り	サニープレイス
	絵画	木下 千晴	うみと月 海と月	そらまめ
	絵画	眞柄 綾香	あやかのお	社会福祉法人あゆみ 生活介護事業所あゆみ
賞	絵画	水谷 辰椰	なつやさいはいそうしや 夏野菜の配送者	ワークショップみらい
	写真	芥川 結芽	わたしの好きなもの ~ゆめ~ 私のお気に入り	社会福祉法人あゆみ 生活介護事業所あゆみ
	書道	神野 魁	けいぞくちから 継続は力なり	亀山市
	手芸	井上スズ子	エレガントスリーブプル	名張市身体障害者互助会
	工芸	田中 翔太	はっぴーすまいる Happy Smile	社会福祉法人あゆみ 生活介護事業所あゆみ
賞	貼り絵・CG	松本 高枝	カエルのお城	社会福祉法人あゆみ 生活介護事業所あゆみ
	俳句	西山 明子	あつひのおきわ 暑い日に去りし我が友胸に居る	大紀町障害者福祉会
サブタイトル	藤田 理奈	ふじのり 藤田 理奈	~ひとりひとりが主人公 想いを届ける芸術祭~	社会福祉法人檜の里 あさけ学園

受賞おめでとうございます

◆第40回東海テレビひまわり賞

塚本明雄（三重喉友会 会長）

平成11年喉頭がんにより喉頭全摘出・右耳リンパ節下手術をした。発声訓練（食堂発声法）は、通常の人と比べて上達が遅く、家族、病院の医師、看護婦、発声教室の指導員、先輩方々の協力がなければ会話できるようにはならなかったと感謝している。

手術された方が発声訓練を受けて日常会話が出来、社会や職場に早く復帰できるように、県内病院等で喉頭摘出手術された方の発声教室を毎月開校している。

また、出前授業として、県内の小・中・高等学校の生徒に病院の医師と共にごん体験者として講演している。

今後、三重喉友会では各病院での発声教室の後継者育成等のほか、ZOOMによるオンライン発声教室についても検討中である。

◆三重県医療保健及び子ども・福祉関係功労者表彰

○福祉事業従事者功労

杉本立己（社会福祉法人鈴風会 障害福祉サービス事業所すずかせ 施設長）

○精神保健福祉事業功労

瀬古雅之（NPO法人わかばわかば共同作業所 所長）

中野喜美（三重県自閉症協会 ペアレントメンター）

○福祉団体指導者功労

耕野一仁（名張市身体障害者互助会 会長）

○ボランティア功労

手話サークルさくらんぼ（名張市）

37年の長きにわたり、手話の学習や聴覚障がい者との交流を通じて「聴覚障がい」についての理解と認識を深め、手話の普及に努めている。また、三重県手話サークル連絡協議会に所属し、手話通訳及びイベント活動に協力するなど、聴覚障がい者の福祉向上に尽力している。

長澤とよ（伊勢市）

長年にわたる朗読活動を通じて、視覚障がい者をはじめ、多くの人に朗読の世界を楽しんでもらえるよう活動している。小説やエッセイ、詩、昔話、映画等の録音テープを作成したり、施設へ出向き朗読を行ったりして、リスナーの方々に楽しい時間を提供し続けている。

また、伊勢市ボランティア連絡協議会にも加入しており、ボランティアまつりや就労支援施設等の製品販売への協力等も積極的に行っている。

◆障害者自立更生等厚生労働大臣表彰

○身体障害者等社会参加促進功労者

山本晃（名張市）

名張市身体障害者互助会事務局長や副会長等を歴任するとともに、障がい者スポーツの推進や障がい者の交通安全運動の普及に尽力し、障がい者の社会参加の促進に貢献されました。

◆ボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰被表彰

東員点訳友の会（東員町）

30年以上にわたり、東員町を中心に点訳の普及啓発及び視覚障がい者の福祉増進活動に尽力されています。

しおり会（御浜町）

御浜町内在住の視覚障がい者の方や、高齢になって字が読みにくくなった方に対し、平成3年から町広報誌を朗読、CDに録音して配布するなど、毎月欠かさず情報や話題を提供しています。

◆生涯スポーツ功労者及び

生涯スポーツ優良団体文部科学大臣表彰

福本紀昭（伊賀市）

（三重県ゲートボール連合会常任理事等）

三重県障害者フライングディスク協会（津市）

（代表者会長 吉田 健一）

◆第37回障害者による

書道・写真全国コンテスト

○書道部門

銀賞 倉田 務 「力」

銅賞 細井 きみ 「茂林修竹又有」

城田 久美子 「なみだ」

○写真部門

銅賞 駒田 友章

「昇り藤 ルピナス」

第68回三重県身体障害者福祉大会会長表彰

1. 自立更生者

古舘 恵子（菟野町）

2. 団体育成功労者

水谷 幸子（桑名市）

大丘 正晴（川越町）

服部 圭子（川越町）

長谷川 吉信（津市）

渡邊 克己（津市）

福嶋 月子（津市）

洋谷 昭子（津市）

平井 克昌（津市）

廣地 正行（松阪市）

九鬼 都代美（熊野市）

塚本 明雄（津市）

3. 奉仕活動功労者

長田 公子（松阪市）

達知 恵美子（鈴鹿市）

西脇 喜三子（四日市市）

井上 恵子（松阪市）

高本 英人（鈴鹿市）

小野 義一（菟野町）

4. その他の更生援護

井上 昌次（多気町）

